

消費税増税法案

平成 24 年 8 月 10 日にいわゆる消費税増税法案が、衆議院本会議で民主、自民、公明 3 党などの賛成多決で可決成立致しました。

1. 税率の引上げ

これにより現在 5% の消費税率は、平成 26 年 4 月 1 日に 8%、平成 27 年 10 月 1 日に 10% へ 2 段階で引き上げられることとなります。

	消費税	地方消費税	合計
現行	4%	1%	5%
平成26年4月1日～	6.3%	1.7%	8%
平成27年10月1日～	7.8%	2.2%	10%

2. 税収の使途

年金・医療・介護・少子化対策に充て、「社会保障関係費以外には、ピタ一文使わない。公共事業のばらまきに使うことは絶対させない」(安住財務相)そうです。

【所見】

消費税増税法案が会計システムに与える影響は？

(税抜経理のメリット)

(1) 消費税増税分を含めずに売上及び利益を把握する事が出来、過年度との比較が容易である。

(2) 下記の判定において、増税に左右される事なく、税抜金額で判定する事が出来ます。

① 法人の場合の交際費損金不算入額

税抜経理をした方が損金不算入となる交際費等の額が小さくなり、所得計算上有利！

② 10万円未満の少額の減価償却資産

税抜で 10 万円未満までは一時に経費 OK。

③ 償却資産税の課税標準

課税標準は税抜金額をベースに算出！

(まとめ)

基本的には、税抜経理をお勧め致しますが、業種によっては、税抜経理が煩雑になる場合もあります。従って、より詳しい内容につきましては、各担当より後日説明や相談を承りますので、疑問点等があるようでしたら、ご遠慮なくお申し付け下さい。(NR)

会計王 使い方のヒント

皆様がよくお使いになっている会計王について、少しでも便利にお使い頂ければと思います、使い方のヒントをいくつか挙げさせていただきます。

1. 画面の切り替え

会計王内で、いくつか裏画面を開いている状態で、画面を切り替えたい場合は、以下の方法で簡単に切り替えられます。

「CTRL」 + 「TAB」

キーボード左下の「CTRL」キーを親指で押しながら、三つ上の「TAB」キーを中指で押して下さい。押すたびに切り替わります。

2. メニュー画面を表示させる

入力画面などを開いているときに、メニュー画面を開きたくなった場合は、画面右上の緑色の「■メニュー」ボタンをクリックして下さい。

入力画面が裏画面となり、メニュー画面が表示されます。

3. 複数画面を一気に閉じる

画面の一番上に、「ファイル」・「編集」・「導入」で始まるメニューバーの、ちょうど「ウィンドウ」の下辺りに、太陽が点滅しているようなマークがあります。それが「すべて閉じる」というボタンですので、それをクリックして頂くと

画面がすべて閉じられ、メニュー画面だけになります。

4. 収入金額から支出金額へ移動(又は逆)

収入金額にカーソルを合わせ、キーボード右下又はテンキー上部の「/」(スラッシュ)キーを押しますと、「移動しますか?」と聞いて来ますので、「OK」をクリックして下さい。

5. 単票で入力した仕訳を振替伝票に変換する

変換したい仕訳をクリックして、キーボード左下の「SHIFT」キーを押し、画面上部のファンクションキーの表示を切り替えます。

簡易振替伝票入力の画面ですと「F3」が、出納帳入力の画面ですと「F1」が「振替変換」という表示に切り替わりますので、「SHIFT」

キーを押しながら、キーボード

上部の「F3」か「F1」を押して下さい。振替伝票入力の画面が開かれ、指定した仕訳が表示されます。(NK)



給料王設定のポイント

給料王は基本給や保険料等の設定をする事により毎月の給与計算はもとより給与関連の手続の資料としても利用できます。そこで毎年変更がある社会保険料を例に設定のポイントをあげてみました。

・ Point 1 設定変更のタイミング

変更前月の給与賞与がロックされた状態で次月へ更新し、給与計算入力前に変更する。入力後に気づき変更した場合は、変更後、給与データ入力画面へ戻り、変更した社員名をクリックする事で反映される。

・ Point 2 設定の順序

最初は全体①そして個々②へ

- ①設定→給与規定→社会保険→保険料負担率
- ②設定→社員情報(個別)→個人選択→社保/劳保
(社保等級の変更や雇用保険に加入した場合)

・ Point 3 設定の範囲

- ①設定変更する人数が多い場合
社員情報設定(一覧入力)→表示形式→項目選択
- ②設定変更する人数が少ない場合
社員情報設定(個別)から Point2の②と同じ
上記の Point 1、3は基本給や交通費の設定変更でも同じです。
最初に使い易い環境を設定する事で、給与計算以外にも利用範囲が広がります。
尚、給料王に関するご質問等が御座いましたら、各担当者へお尋ね下さい。(Y)

地下鉄に乗って

最近、地下鉄銀座線に車体全部が黄色い新型車両がお目見えしました。滅多にお目にかかれませんが、これ、車両がステンレス製になるまで走っていた懐かしい車両の復刻版です。昔の銀座線は走行中に駅と駅の間で毎回車内の電灯が一斉に消えた、という話もいまや昔話です。

そういえば地上を走る電車がほとんど冷房化されても地下鉄だけは、車両冷房が完備されるのがかなり遅かったことを思い出しました。天井にユニット型の冷房を載せた車両が来ると嬉しかった記憶があります。窓が閉まっていれば冷房車、窓が全開の車両は夏に「暖房車」と呼ばれていましたっけ。改めて調べてみて、東京メトロ(当時は営団)が全車両完全冷房化したのは平成8年と知り、意外と最近だったことに驚きました。

ないものはない、と思えば我慢するしかないのですが、あるのにないと思って我慢するのは無理。昨夏は節電の夏で忍耐を強いられたので、その反動でか、今年の夏は首都圏の電車の冷房が押し並べて効きすぎで寒い思いをしました。喉元過ぎればなんとやらでしょうか。(N)

美味しいもの

社会人になってから「おいしいもの」を食べる機会が増えました。学生の頃はアルバイトの収入しかなかったので、「食」にはそれほどお金をかけられませんでした。収入が増えると好きなもの(=おいしいもの)を食べられるようになりました。

社会人になってからというもの、好物ばかり食べてきたせい、健康診断で鉄分不足という結果が…(泣) このままではダメだと思いつつも、やはり好きなものを食べてしまうのは人間の悲しい性なのでしょう。乱れた食生活を正すには時間がかかりました。ようやく最近になって、昼食によく食べていた菓子パンをお弁当に変え、健康に気を遣うようになりました。

舌にとってのオイシイものは、身体にとってはマズイ(危機的な意味で)ものであることが多いような気がします。

おいしいものを食べるには、まず健康な身体があってこそだと思ふ今日この頃、舌だけでなく身体にとっての「おいしいもの」を食べるように心がけています。(U)

急がば回れ

- 上司A「なんでこんなことになってるの?!」
部下B「すみません。△△になっていますか?」
A「違うわよ!××になっているのよ!」
B「〇〇にしたほうがいいですか?」
A「そうじゃなくて、どうしてこんなことになってるのかって聞いているの!」
B「すみません。私が至らないばかりに……」
A「そうじゃなくて!原因を教えてって言うてるの!」
B「。。。。はあ。。。。調べてみます。」

こんな会話していませんか?

この場合問題なのは、部下の聞き取り能力不足ではなく、上司の指示不足ですね。

部下は上司に注意されていると思い、上司の怒りをこれ以上激化させないために、なんとか取りなそうとしたり、意図を汲もうとして先回りし、それが見当外れで、ますます上司の怒り心頭。。という悪循環のパターンです。

この上司が初めから、「なぜ××になっているのか原因を調べて欲しい」と指示していれば、一言で片付いていたはず。言葉を端折らず、最初に些細な時間を惜しまず、急がば回れ、ですね

反省、反省(^_^;) (N)